

平成20年度クリーニング師試験 (学 科)

(注意事項)

試験問題は、指示があるまで開いてはいけません。

- 学科試験は、衛生法規に関する知識が2ページ5問、公衆衛生に関する知識が2ページ4問、洗たく物の処理に関する知識が2ページ5問の3科目合計6ページ14問を同時に行います。なお、問題用紙は両面印刷になっております。
- 試験時間は、午前10時から午前11時30分までの1時間30分です。
- 机の上には、受験通知書、筆記用具、時計以外のものを置いてはいけません。
- 試験中は私語を慎んでください。
- 質問、用件等があるときは手をあげて係員に合図してください。ただし、試験問題に関する質問には答えられない場合もあります。
- 係員の指示に従わないときや、不正行為を行ったときは、失格となり退室していただきます。
- 試験開始後30分間は退室できません。なお、30分経過後に退室する場合は、手をあげて係員に合図をし、問題用紙を閉じて置いたまま、持ち物を持って静かに退室してください。一度退室すると11時30分までは再度入室できませんので注意してください。
- 11時30分から実地試験についての説明を行いますので、途中で退室された方は、11時30分には入室できるように会場の前に待機してください。

受 験 番 号	
------------	--

衛生法規に関する知識

問1 次の文は、クリーニング業法の目的について述べたものです。()の中に下欄から正しいものを選び、その記号を()内に記入しなさい。 (4点×5=20点)

この法律は、クリーニング業に対して、(ク)の見地から必要な(ケ)及び(ア)を行い、もってその経営を(キ)の(オ)に適合させることを目的とする。

ア 取締り	イ 保健	ウ 環境衛生等	エ 対策	オ 福祉
カ 検査	キ 公共	ク 公衆衛生等	ケ 指導	コ 資質向上

※(ケ)及び(ア)の順番は問わない。

問2 次の文の()の中に下欄から正しいものを選び、その記号を()内に記入しなさい。 (4点×5=20点)

- (1) 洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び(コ)をそれぞれ少なくとも(キ)備えなければならない。
- (2) クリーニング所とは洗たく物の処理又は(ク)及び(ウ)のための営業者の施設をいう。
- (3) 営業者の地位を承継した者は、遅滞なく、その事実を証する書面を添えて、その旨を都道府県知事に(エ)なければならない。

ア 保管	イ 申請し	ウ 引渡し	エ 届け出	オ 乾燥機
カ 2台	キ 1台	ク 受取	ケ 洗たく	コ 脱水機

※(ク)及び(ウ)の順番は問わない。

問3 次のA群とB群の事項で関係のあるものを線で結びなさい。 (4点×5=20点)

- | A 群 | | B 群 |
|---|---|------------|
| (1) クリーニング師が結婚して氏名が変わったとき | ✕ | 免許証の再交付の申請 |
| (2) 免許証を亡失し、又はき損したとき | ✕ | 免許証の訂正の申請 |
| (3) クリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたとき | ✕ | 都道府県知事への届出 |
| (4) クリーニング所を開設しようとするとき | ✕ | 業務停止 |
| (5) 業務従事者が伝染性の疾病にかかりその就業が公衆衛生上不相当と認めるとき | ✕ | 免許証の取り消し |

問4 次の文について正しいものに○印、誤っているものに×印を（ ）内に記入しなさい。
(4点×5=20点)

- (1) (○) クリーニング師の免許は、都道府県知事がクリーニング師試験に合格したものに与える。
- (2) (×) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に、免許証の訂正の申請を住所地の都道府県知事にしなければならない。
- (3) (×) 洗たく物の取次店にはクリーニング師をおかなければならない。
- (4) (○) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後、1年以内に法の規定による研修を受けるものとする。研修を受けた後は、3年を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。
- (5) (×) クリーニング所には、従業員数に応じて、最低2人以上のクリーニング師を置かなければならない。

問5 次の文は、営業者が洗たく前に消毒しなければならない洗たく物について述べたものです。下欄から正しいものを選び、その記号を（ ）内に記入しなさい。

(4点×5=20点)

- (1) 伝染性の疾病にかかっている者に接した者が使用した物で、伝染性の疾病の(エ)による汚染のおそれのあるものとして引き渡されたもの。
- (2) (キ)、パンツ、手ぬぐい、(ウ) その他これらに類するもの。
- (3) 病院又は(ク)において療養のために使用された(オ) その他これに類するもの。

ア 保養所	イ 患者	ウ タオル	エ 病原体
オ 寝具	カ シャツ	キ おむつ	ク 診療所

※(キ)及び(ウ)の順番は問わない。

公衆衛生に関する知識

問1 次の文の（ ）の中に、下欄から適当な語句を選び、その記号を記入しなさい。

(3点×10=30点)

公衆衛生について、ウィンスローは「公衆衛生とは（キ）の（オ）な努力を通じて、疾病を予防し、（ア）し、肉体的および（エ）の増進を図る科学であり技術である」と定義している。これを要約すると、

①公衆衛生の働きを推進していくための主体は、（ケ）、（カ）、組織化された地域社会や（ク）などである。

②公衆衛生の主なねらいは、（ウ）し、（コ）を良好にして、寿命を延長するとともに、（イ）、精神的能力の向上を図ること。 などである

ア、生命を延長	イ、肉体的、	ウ、疾病を予防、	エ、精神的能率	オ、組織的
カ、地方公共団体	キ、共同社会	ク、職域社会	ケ、国	コ、生活環境

※（ケ）及び（カ）の順番は問わない。

問2 次のA群に関係あるものをB群から選び、その記号を（ ）内に記入しなさい。

(4点×5=20点)

A群	B群
H I V (c)	a 内臓脂肪症候群
B C G (d)	b 重症急性呼吸器症候群
M R S A (e)	c 後天性免疫不全症候群
メタボリックシンドローム (a)	d 結核予防接種
S A R S (b)	e メチシリン耐性ブドウ球菌

問3 次の感染経路で感染する疾患名を下記から選び、その記号を記入しなさい。

(4点×5=20点)

- 1 空気感染・・・・・・・・・・・・・・(ウ) (オ)
- 2 媒介物（食物）感染・・・・・・・・・・(ア) (エ)
- 3 媒介動物（生物学的）感染・・・・・・(イ)

ア、コレラ	イ、日本脳炎	ウ、麻疹	エ、赤痢	オ、結核
-------	--------	------	------	------

問4 次の文で、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

(3点×10=30点)

- 1 (○) 我が国の死亡率が低くなった直接の理由は、乳児死亡率の低下、結核死亡率の低下、脳血管疾患、悪性新生物による死亡率の低下が主である。

- 2 (×) 日本国民の平均寿命は年々延長し、明治・大正時代に50歳台であった平均寿命は、昭和22年以後は60歳台となった。
- 3 (○) 一酸化炭素は、石炭、石油、都市ガス等を燃料とするストーブ、湯沸器、ボイラー等を使用した際の不完全燃焼の際に発生する有毒ガスである。
- 4 (○) 衣服によって構成される環境はa 含気量、b 通気性、c 熱伝導性、d 吸熱性、e 吸水性、f 衣料処理剤の毒性等がある。
- 5 (×) 感染症は、感染源、感染経路、感受性のある個体のうち2要因あれば発生する。
- 6 (×) 第2類感染症に結核、MRSAがある。
- 7 (○) 第5類感染症について、国が感染症発生動向調査をしている。
- 8 (○) 結核の年齢別罹患率をみると、新登録患者の60歳以上の占める割合は、約60%と高い。
- 9 (×) エイズ患者はHIV感染者と同様に、平成18年度は過去最高となった。中でも日本国籍女性の増加も過去最高となった。
- 10 (○) メタボリックシンドロームの予防は、食生活の改善、運動習慣の徹底が重要である。

洗たく物の処理に関する知識

問1 次の文の()内に、下欄から正しいものを選び、その記号を()内に記入しなさい。
(3点×7=21点)

クリーニング業法では、クリーニングを「(**イ**)または洗剤を用いて衣類その他の(**エ**)または皮革製品を(**ア**)のまま洗たくすることを営業すること」と定義している。また、クリーニングを大別すると水を使用する(**オ**)、(**キ**)と揮発性有機溶剤を使用する(**カ**)に分類される。クリーニング後の衣類はアイロン、プレス機などにより形を整える。これをクリーニングでの(**ウ**)という。

ア 原型 イ 溶剤 ウ 仕上げ エ 繊維製品 オ ランドリー
カ ドライクリーニング キ ウェットクリーニング

※(オ)及び(キ)の順番は問わない。

問2 次の絵は、家庭用品品質表示法に基づく繊維製品の取扱い絵表示及びISOによるケアラベルである。()内に適語を記入しなさい。
(3点×8=24点)

	液温は、30℃を限度とし、(中性洗剤)を用いる必要がある。洗濯機の(弱水流)又は(弱い手洗い)がよい。
	アイロンは 210℃を限度とし、(当て布)を当て、高い温度{ (180)℃ ~ (210)℃まで } で掛けるのがよい。
	普通の操作により、業者による(ドライクリーニング)ができる。溶剤は(石油系溶剤)を使用する。

※記述は同一語句であること、ただし平かなによる記載も可。

問3 次の繊維の分類について、A群とB群との関係の深いものを線で結びなさい。
(3点×5=15点)

A 群		B 群
天然繊維 (植物性繊維)	↘	・ キュプラ
天然繊維 (動物性繊維)	↙	・ トリアセテート
化学繊維 (再生繊維)	↘	・ COTTON
化学繊維 (半合成繊維)	↙	・ S I L K
化学繊維 (合成繊維)	—	・ ポリウレタン

問 4 次の文の()内に、溶解する事故原因として、関係の深い素材(製品)を下欄から正しいものを選び、()内に記入しなさい。(4点×4=16点)

ドライ溶剤に溶ける素材 (スチロール製品)
 ドライ溶剤で硬化する素材 (ポリ塩化ビニル製品)
 ドライ溶剤に脆化・軟化・剥離しやすい素材 (ポリウレタン合成皮革製品)
 ドライ溶剤に表面加工(羽毛・模様)が剥離・脱落しやすい素材 (ラメプリント製品)

スチロール製品、ポリウレタン合成皮革製品、ラメプリント製品、ポリ塩化ビニル製品

問 5 次の表は、ランドリーとウェットクリーニングの違いを示したものである。下欄から選び、その記号を()内に記入しなさい。(3点×8=24点)

		ランドリー	ウェットクリーニング
洗たく物		薬品、熱、機械力に強い衣料(繊維、染色) (ア)	型くずれ(ちぢみ、変形)や色泣きしやすい衣料 (ウ)
洗浄温度		(エ)	(オ)
洗浄時間		15～30分(1～2回洗い)	※5分以内(1回洗い)
洗剤	タイプ	弱アルカリ性洗剤 +メタけい酸ナトリウム	中性洗剤
	濃度	(イ)% 溶液	(ク)% 溶液
液性		弱アルカリ性	中性
洗たくの操作		ワッシャー (浴比 1:5程度)	ワッシャー (浴比 1:7～8程度)
洗いのポイント		(カ)	(キ)

※ ワッシャー使用の場合

ア. 綿・ポリエステルが主	イ. 0.2～0.3	ウ. ニット・デリケート品・薄地品
エ. 40℃～80℃	オ. 常温～40℃	カ. 汚れ・シミおち重視
キ. 形態・染色・風合重視	ク. 0.5～1	